

第5学年 体育科学学習指導案

日時 令和2年〇月〇日 (〇) 〇校時

場所 多目的ホール

児童 20名

指導者 笠松 具晃

1. 単元名 It`s a SUMOU world (A体づくり運動 イ体の動きを高める運動)

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

自分の体のバランスを保ちながら、押ししたり、引いたりして相手のバランスを崩して勝敗を競うことが楽しい運動である。

(2) 子どもから見た特性 (児童の実態を含む)

- ・本学級の児童 (20名) に対する事前調査では、体育の学習が「好き」と答えた児童は17名 (85%)、「嫌い」が3名 (15%)。相撲遊びの経験がある児童は9名 (45%) 未経験が11名 (55%)。相撲遊びは「面白い」又は「面白そう」だと答えた児童が7名 (35%)、「好きではない」「面白そうに思えない」が13名 (65%) であった。また、児童が遊んだ経験がある、又は知っている相撲遊びは、「手押し相撲」「押し相撲」「指相撲」「腕相撲」であった。
- ・児童にとって相撲遊びの面白さとは、相手とぶつかりあって押し合うことであり。また、嫌い、好きになれない理由は、痛い、相手と組み合うことに抵抗があるといったものだった。

3. 教師の授業への意図

- ・単元を通した問いとして、自分のバランスを保ちながら相手のバランスを崩す (崩す、崩させない) 方法 (姿勢) について考えさせ、それを子どもの気づきに応じて加筆・修正し、クラスで共有していくことをねらいとする。
- ・「力の出し方・伝え方」「体の支え方」という二つの大きな問いに対して、「足」「腕」「腰」「頭」といった体の部位をポイントとして子どもと共に気づきをまとめていく学習を仕組む。
- ・土俵を狭く (白マット2枚分) 設定し、瞬間的な力の発揮場面での気づきを促す。
- ・取り組みを撮影した動画を毎時間残し、タブレットの動作比較ソフトを活用して、自らの変容に気づききっかけとする。
- ・動画撮影は被撮影者のめあてに応じた目的 (撮りたい所、見たい所) を明確にもって行わせる。また、その動画には必ず被撮影者に対してコメントを入れるようにする。
- ・学習のまとめで各自の活動内容を全体で交流することで、児童相互が影響し合い、更に楽しみ方を広げ深められるようにする。
- ・相手としっかり組合えるようにするため、全員に簡易まわしを着用させる。
- ・安全面と単元を通した問いへの気づきに焦点化させるため、学習初期では体格同質の者との取り組みをさせ、競技に慣れ、動きへの気づきがクラスである程度整理されたところで体格が異質な者との取り組みを行わせる。
- ・突っ張りなど危険な技の使用は禁じる。
- ・相手と組み合うことに抵抗感がある子には、バランスボールを抱えて押し合うことから行わせる。※非接触対策
- ・土俵の周囲をできるだけマットで囲み、子どもの転倒に備える。
- ・準備運動で行う「あんたがたどこさ」「おしくらまんじゅう」「相撲遊び (手押し、縄、引き、しゃがみ)」を通して、多様な動きも経験させ、運動の日常化から体力の向上へとつなげるきっかけとしたい。

4. 単元目標

力の出し方・伝え方や体の支え方を工夫して、相撲を楽しむ。

5. 評価規準 (※番号は、単元全体を通した評価規準表に準じる)

	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学びに取り組む態度
学習活動に即した 評価規準	②体の動きを高める運動の行い方を知っている。 ③自分の体力についての課題を知っている。 ④どのような運動を行うと体力が高まるのかがわかっている。	⑤易しい基本的な動き(基になる動き)に取り組み、運動の仕方や工夫の仕方に基づいて正しく運動することができる。 ⑥体力を高めるために、自己の課題に合った運動を行うことができる。 ⑦動きのポイントを生かして工夫した運動の仕方に基づいて行うことができる。	④自分のねらい合った運動を選んでいる。 ⑥心や体の変化に気付いたり、みんなで行って楽しいと感じた運動や、体の動きを高めるためにグループで工夫した運動の行い方を学習カードに書いたり、例示したりして他者に伝えている。	①体づくり運動に進んで取り組もうとしている。 ②用具の使い方や運動の行い方のきまりを守って運動しようとしている。 ③友達と協力して、用具の準備や後片付けをしようとしている。 ④運動する場や用具の安全に気を配っている。 ⑤友達に言葉をかけたり、運動の補助をしたりして、協力して運動しようとしている。

6. 3学期単元・評価計画

学期	3 学期				
時数	1	2	3	4	⑤
運動	力強い動きを高める運動 体の柔らかさを高めるための運動 巧みな動きを高めるための運動(相撲)				
知識・技能	②⑤ (観察)		③④⑥⑦ (観察・学習カード)		
思考判断・表現		④⑥ (観察・学習カード)		④⑥ (観察・学習カード)	④⑥ (観察・学習カード)
主体的に学習に取り組む態度	①②④ (観察)		③⑤ (観察)		

7. 本時の指導（5／5）

（1）本時の指導目標

力を出し方や体の支え方を工夫して、相撲を楽しむ。

（2）本時の展開

学習活動と児童の反応（・）	教師の働きかけ（○）と形成的評価（◆）
<p>1. 学習の準備をする。</p> <p>○用具と場の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土俵マット（白）が滑らないように、しっかり滑り止めをひこう。 <p>2. 本時の学習内容を確認する。</p> <p>○学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のバランスを崩さず、相手のバランスを崩す方法（姿勢）は・・・。 ・今日は別の部屋の○○さんや□□さんに挑戦しよう！ ・相撲は、相手を怪我させないように、勝敗が決まるまでしっかり手を離さないようにしないと。 	<p>○自分が立てた活動計画に応じて、必要な物を準備するように促す。</p> <p>○力を出したり、体を支えたりするための効果的な体の使い方についてのこれまでの気づきを振り返る。</p> <p>○本時の学習に際して見通しをもたせる。</p>
<p>力を出し方・伝え方や、体の支え方を工夫して相撲を楽しむ</p>	
<p>3. いろいろな相撲遊びを楽しむ。</p> <p>○自分で選んだ相撲遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の部屋の人に、手押し相撲で挑戦したいな！ ・自分より体の大きい人にも、同じ方法が通用するかな？ ・自分がバランスを崩さないように相手を崩すことは、相撲遊びも相撲も同じだな。 <p>4. 相撲を楽しむ。</p> <p>○体格の違う相手と相撲をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立会いで廻しのどこをつかむかが、取り組みでは重要だな。 ・バランスボールを使えば、組み合わせ抵抗なく女の子も取り組みを楽しむことができるかも。 <p>5. 学習のまとめをする。</p> <p>○全体で学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みを動画で見たら、僕が勝てたのは、相手より低い姿勢がとれたからだな。 ・相撲の四股は、バランスを保つために有効な姿勢だね。 	<p>○自分と体格が違う相手と楽しむように促す。</p> <p>○体格の違いが体の支え方や力出し方に与える影響について考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆自分の体の効果的な使い方や他者との違いに気づくことができる。（思考・判断・表現）</p> <p style="text-align: right;">【観察・学習カード】</p> <p>A力出し方・伝え方や、体の支え方で工夫したことを、友だちや教師に伝えることができた。</p> <p>B力出し方・伝え方や、体の支え方を工夫して相撲を楽しむことができたか。</p> <p>C力出し方・伝え方や、体の支え方を工夫して相撲を楽しむ。</p> </div> <p>○本時の振り返りや他の児童の活動内容を紹介し、次時の計画を立てる。</p>